

2017年3月期 東リ株式会社 決算説明会

(公益社団法人 日本証券アナリスト協会主催)



2017年 6月 5日 午後1時30分～午後2時30分
於：日本証券アナリスト協会 第2セミナールーム

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

2017年3月期 決算概要

連結売上高・利益の推移	P.4
連結貸借対照表概要	P.5
連結キャッシュ・フロー計算書概要	P.6
連結主要項目の概要(1)	P.7
連結主要項目の概要(2)	P.8
連結セグメント別実績	P.9

中期経営計画『SHINKA-100』

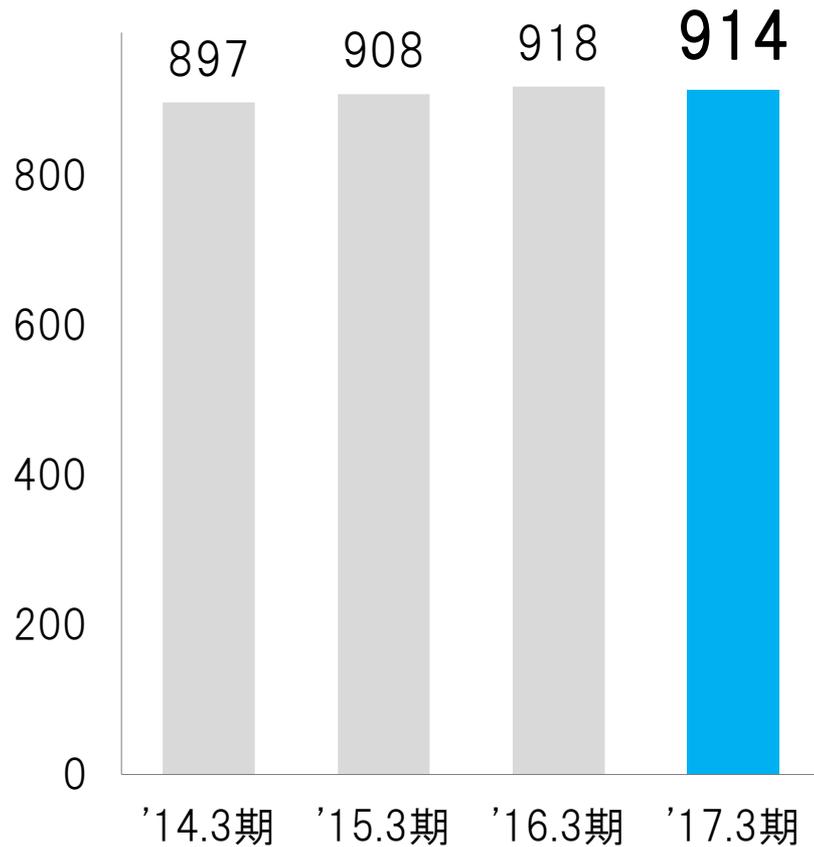
概要	P.11
重点戦略“3つの「SHINKA」”	P.12
重点戦略「進化」	P.13
重点戦略「深化」	P.19
重点戦略「真価」	P.22
連結業績見通し	P.23
連結経営指標	P.24
配当の状況(連結)	P.25

2017年3月期 決算概要

連結売上高・利益の推移

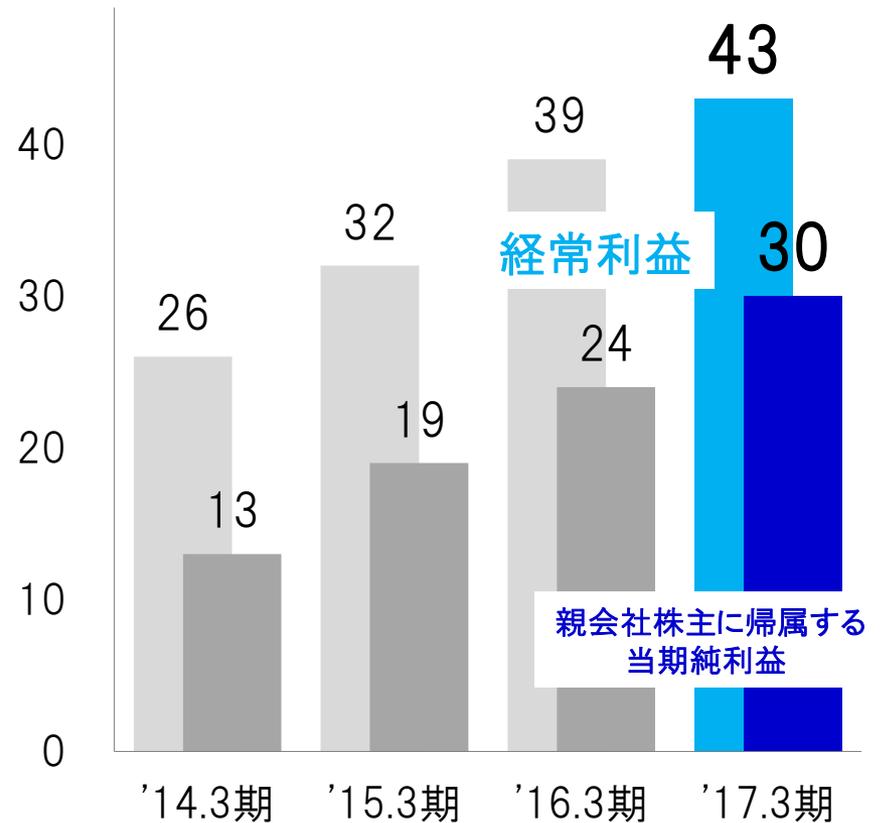
売上高の推移

(億円)



利益の推移

(億円)



連結貸借対照表概要

(億円)

	2016年 3月末	2017年 3月末	増減		2016年 3月末	2017年 3月末	増減
				流動負債	306	298	△ 7
				固定負債	119	120	+0
流動資産 計	467	480	+12	負債 計	426	419	△ 6
				株主資本	291	315	+23
固定資産 計	261	274	+13	純資産 計	303	335	+32
資産 計	729	754	+25	負債及び 純資産 計	729	754	+25

<資産>	2016年3月末比
現金及び預金	+21
建設仮勘定	+4
その他無形固定資産	+4
投資有価証券	+10

<負債及び純資産>	2016年3月末比
設備関係支払手形	△5
短期借入金	△4
利益剰余金	+23
その他有価証券評価差額金	+7

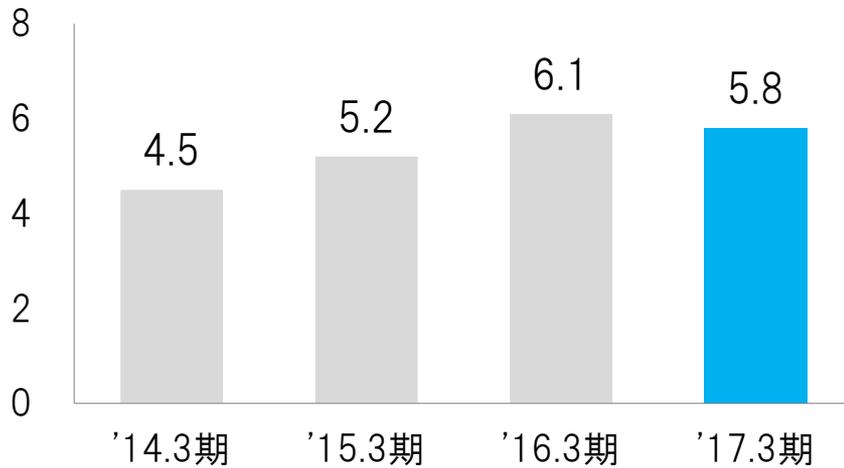
連結キャッシュ・フロー計算書概要

(億円)

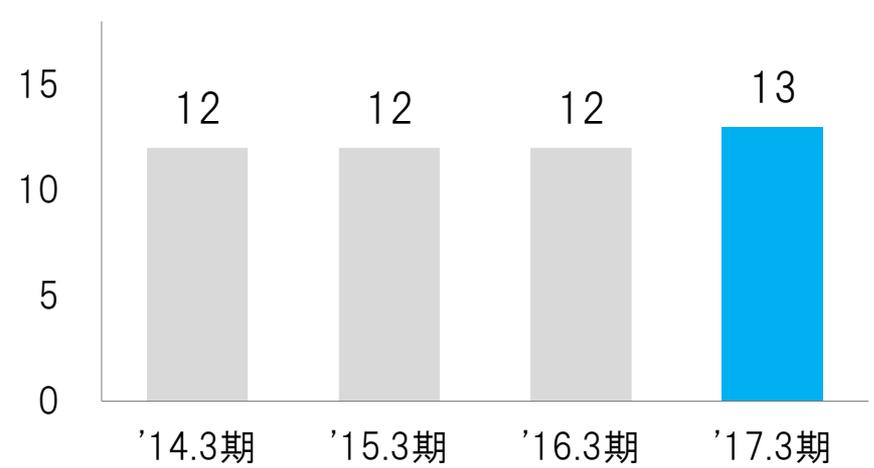
	'16.3期	'17.3期	増減
税金等調整前当期純利益	36	43	+6
売上債権の増減額	3	2	△ 0
たな卸資産の増減額	2	△ 0	△ 2
仕入債務の増減額	△ 7	△ 1	+6
営業活動によるキャッシュ・フロー	44	51	+7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25	△ 22	+3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11	△ 15	△ 4
現金及び現金同等物の増減額	6	13	+7
現金及び現金同等物の期末残高	89	103	+13

連結主要項目の概要(1)

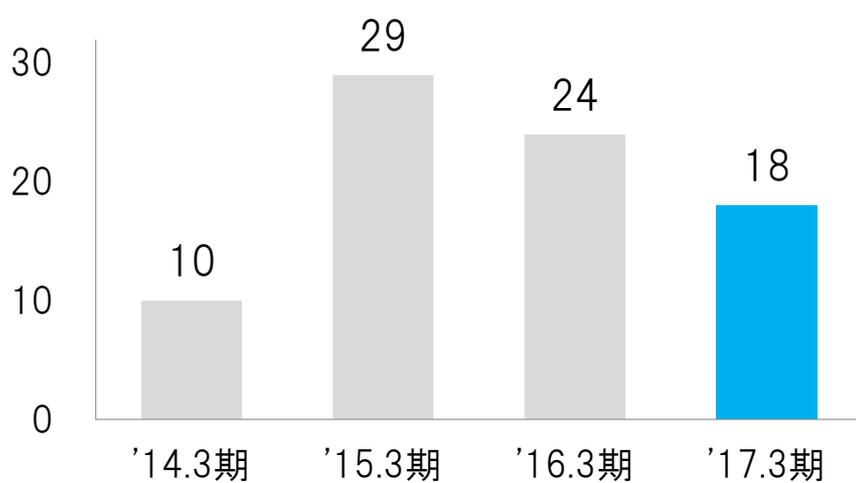
① 研究開発費 (億円)



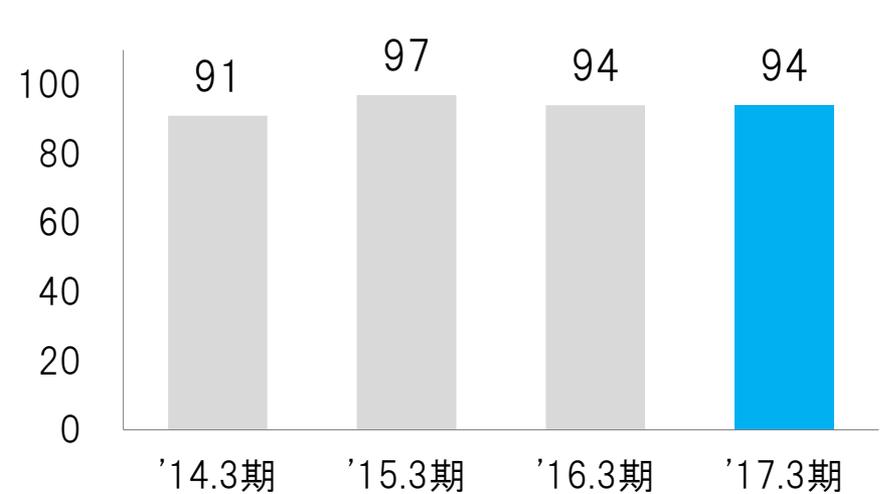
③ 減価償却費 (億円)



② 設備投資額 (億円)

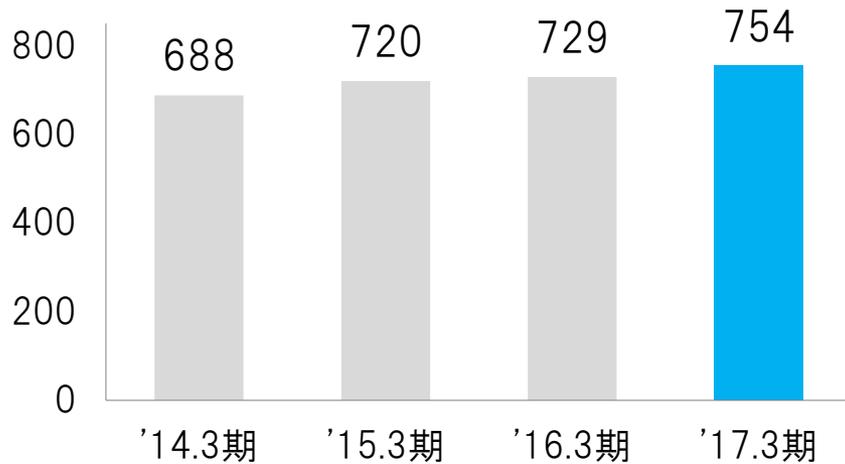


④ 棚卸資産 (億円)

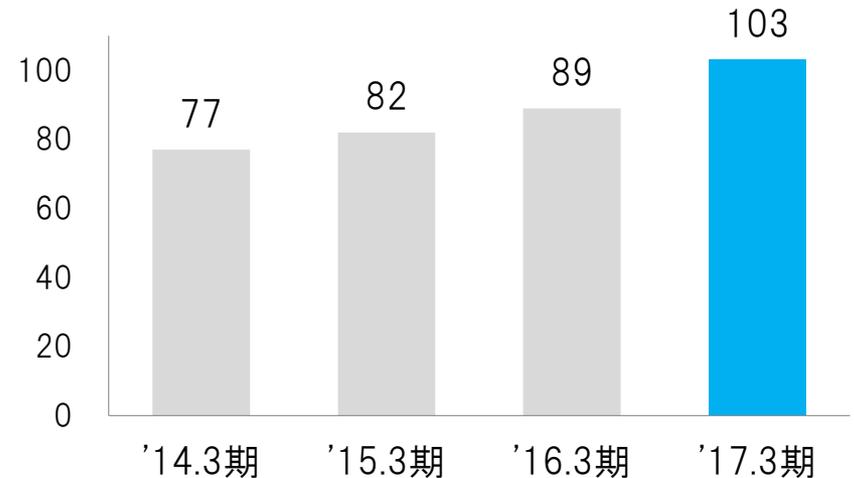


連結主要項目の概要(2)

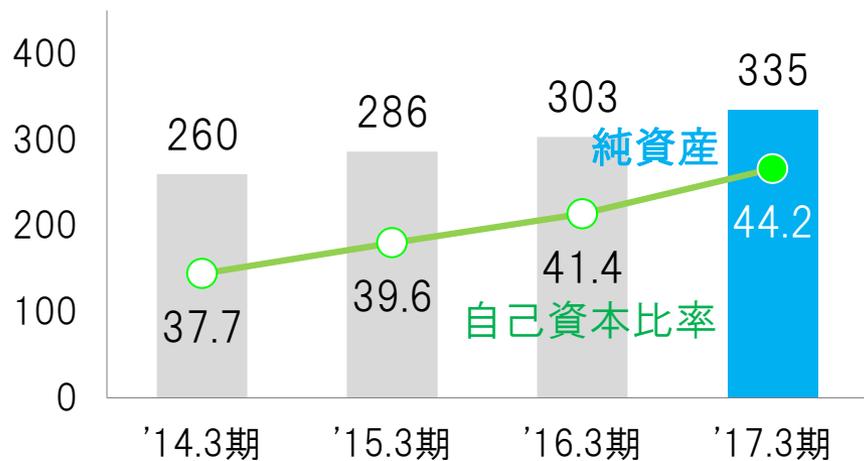
⑤ 総資産 (億円)



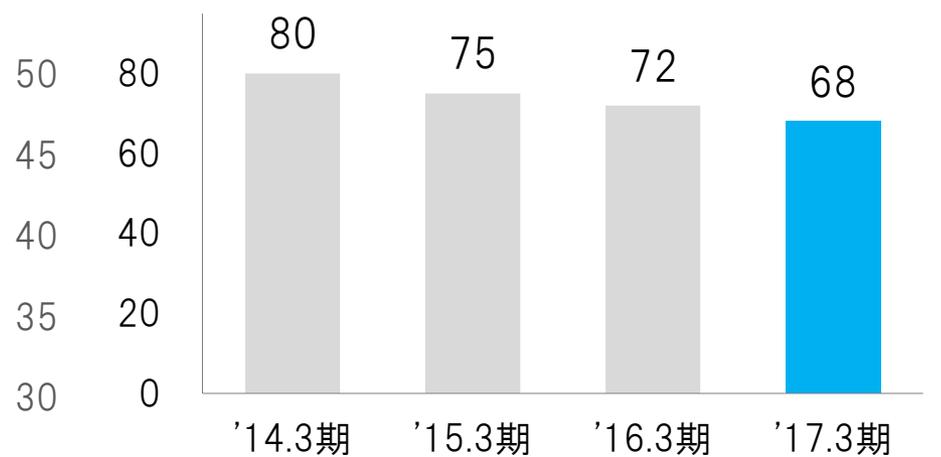
⑦ 現金・現金同等物残高 (億円)



⑥ 純資産/自己資本比率 (億円/%)



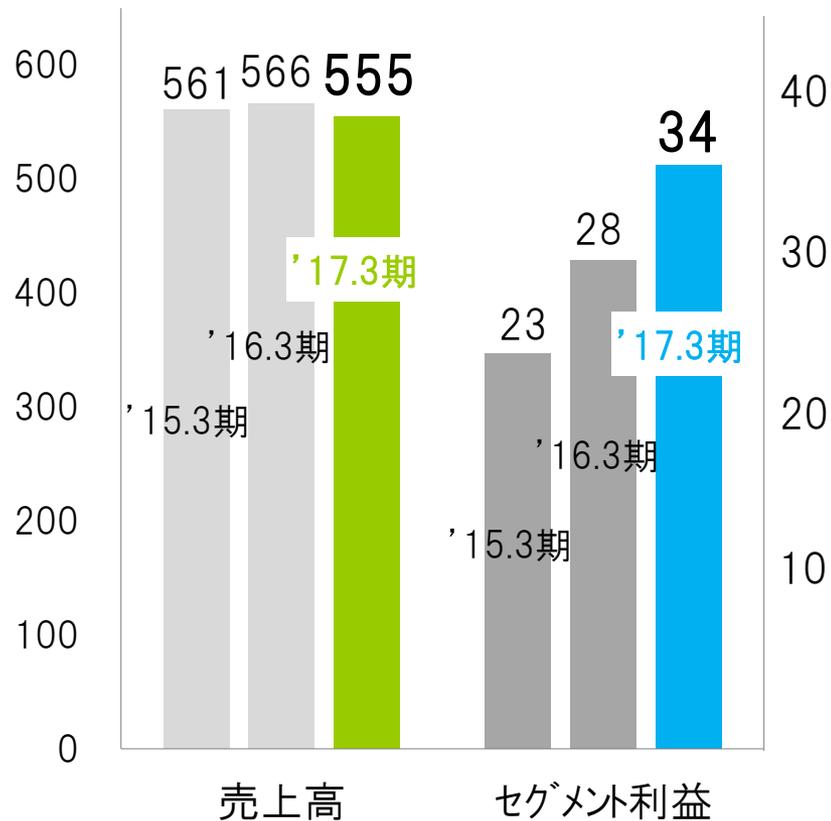
⑧ 借入金残高 (億円)



連結セグメント別実績

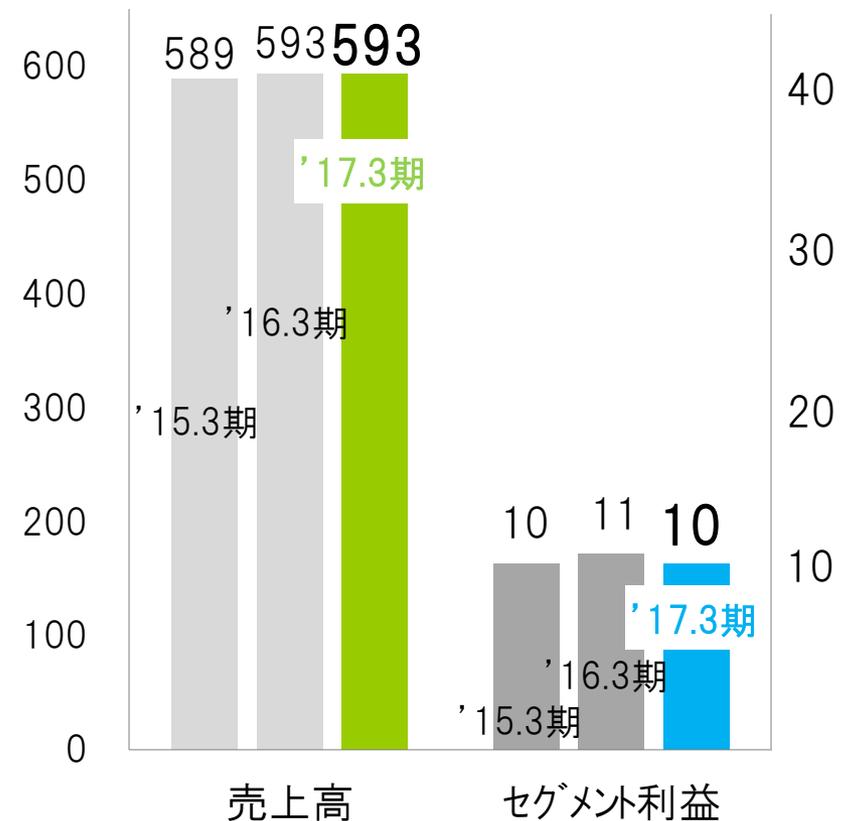
プロダクト事業

(億円)



インテリア卸及び工事事業

(億円)



中期経営計画『SHINKA-100』

『 SHINKA-100 』

(フェーズⅠ)2015-17年度・(フェーズⅡ)2018-20年度

目まぐるしく変化する経営環境に対応すべく、フレキシビリティと強靭さを兼ね備えた事業構造への変革を目指す。

2019年の東リ『創業百年』に向けて、事業基盤強化と成長戦略を推し進め、『百年』の後へのさらなる発展性を追求する。

① 「進化」

～コア事業の成長と発展～

② 「深化」

～グローバル事業展開の拡大～

③ 「真価」

～成長と発展のための事業基盤の整備～

「進化」 ～コア事業の成長と発展～

- ① 中長期商品戦略に基づく事業の強化
- ② 拠点最適化の実現
- ③ 販売チャネルの強化
- ④ 市場別販売戦略の強化



「ロイヤルシリーズ」

(ロイヤルウッド／ロイヤルストーン)

(2016年7月発売)

- ・リアル感の追求と多彩なバリエーション
- ・独自の表現手法を採用



重点戦略「進化」～コア事業の成長と発展～



「GXシリーズ」

(2016年7月発売)

- ・特長的な新意匠
- ・防汚性能がさらに進化、長期美観維持を実現



特殊防汚
(特許出願中)

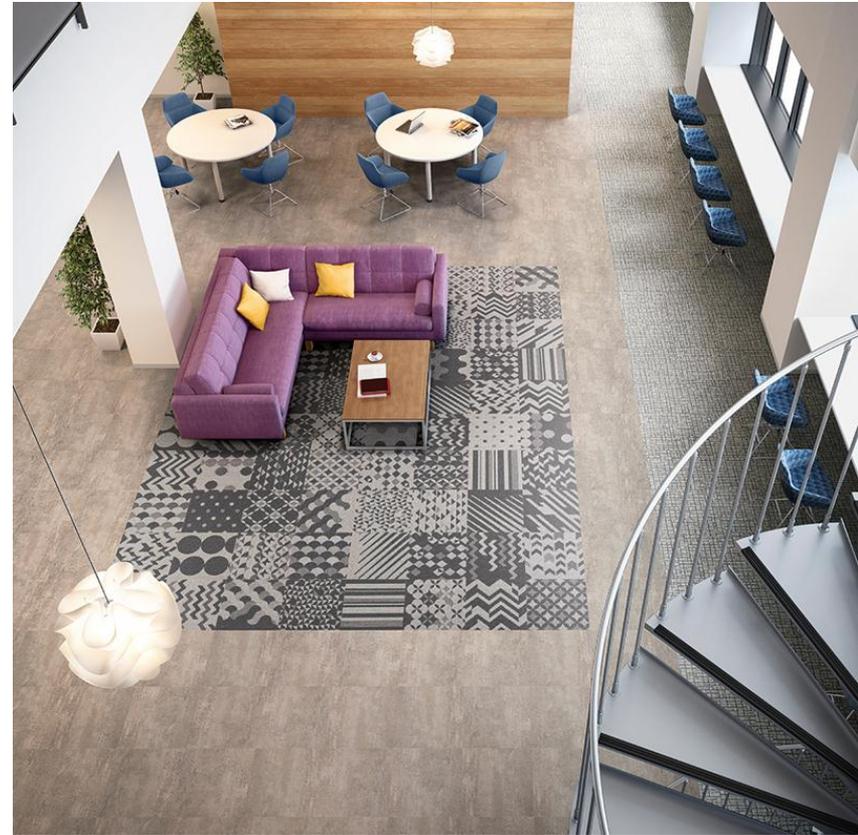
重点戦略「進化」～コア事業の成長と発展～



「フロアリウム プレミアNWシリーズ」 (2017年5月発売)

- ・ワックスメンテナンスが不要な「NWシリーズ」新バリエーション
- ・継ぎ目が目立たない「東リ ジョイントシールド」工法対応

重点戦略「進化」～コア事業の成長と発展～



タイルカーペット部門
1位

読者を対象に、建材・設備メーカーの
製品採用意向等をアンケート調査
2016年11月24日号

- ・種まき・提案営業の推進
- ・日経アーキテクチュア
「採用したい建材・設備メーカーランキング2016」
タイルカーペット部門 1位（2年連続）

重点戦略「進化」～コア事業の成長と発展～



「LAYフローリングピタフィー」

(2017年4月発売)

- ・床の上に重ねて貼るだけの簡単リフォーム床タイル
- ・傷つきや汚れに強く、接着剤不要の裏面吸着タイプ
- ・やわらかいからハサミによるカットも可能

「深化」 ～グローバル事業展開の拡大～

- ① 海外販売の拡大
- ② 海外事業拡大のための基盤の強化
- ③ グローバル視点での業務への取組み

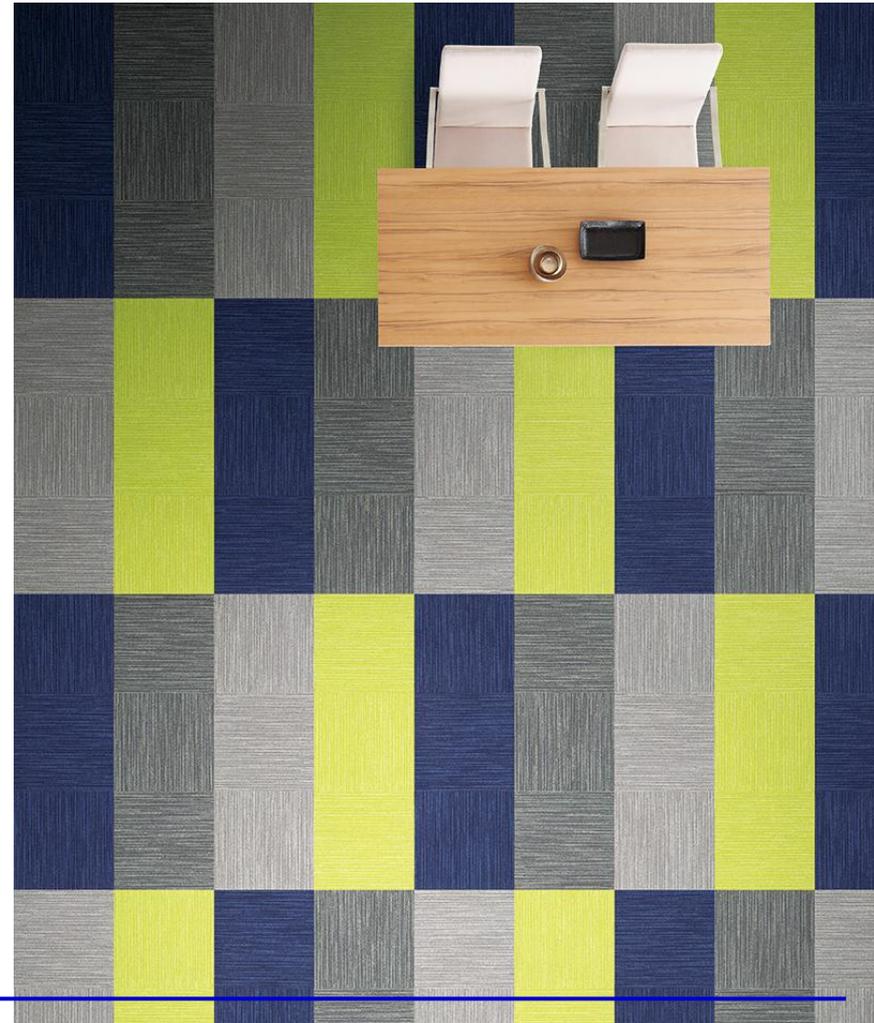
重点戦略「深化」～グローバル事業展開の拡大～



■ YUTAKA1000 SERIES (2012年発売)

- ・YUTAKAシリーズ 販売累計50万㎡を突破
- ・各国エリアにおける販売網の構築・強化
- ・海外市場対応商品の開発

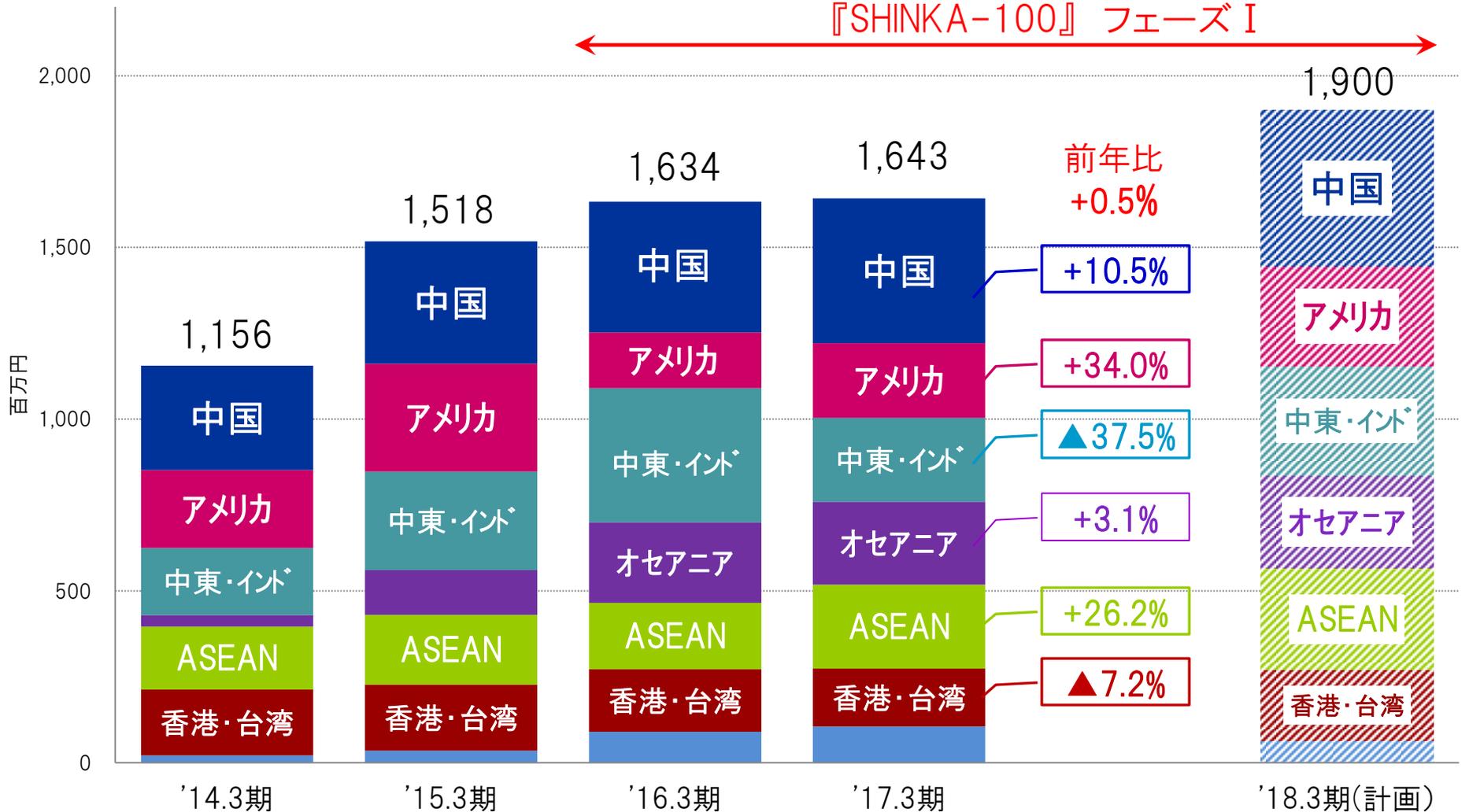
■ YUTAKA2000 SERIES (2015年発売)



重点戦略「深化」～グローバル事業展開の拡大～

海外エリア別 売上実績

『SHINKA-100』フェーズⅠ



「真価」 ～成長と発展のための基盤整備～

- ① 人材育成
- ② 財務体質の強化
- ③ 基幹システム変更による業務改善
- ④ 利益体質の改善

(その他、カーテン・壁装材事業の収益力強化、BCPなど)

2018年3月期 連結業績見通し

(億円)

<'17.3期>

中計最終年度 <'18.3期>

実績

見通し

前期比

(中計指標)

売上高

914

940

+2.8 %

950

営業利益

42

39

△8.2 %

経常利益

43

40

△8.4 %

40

親会社株主に帰属
する当期純利益

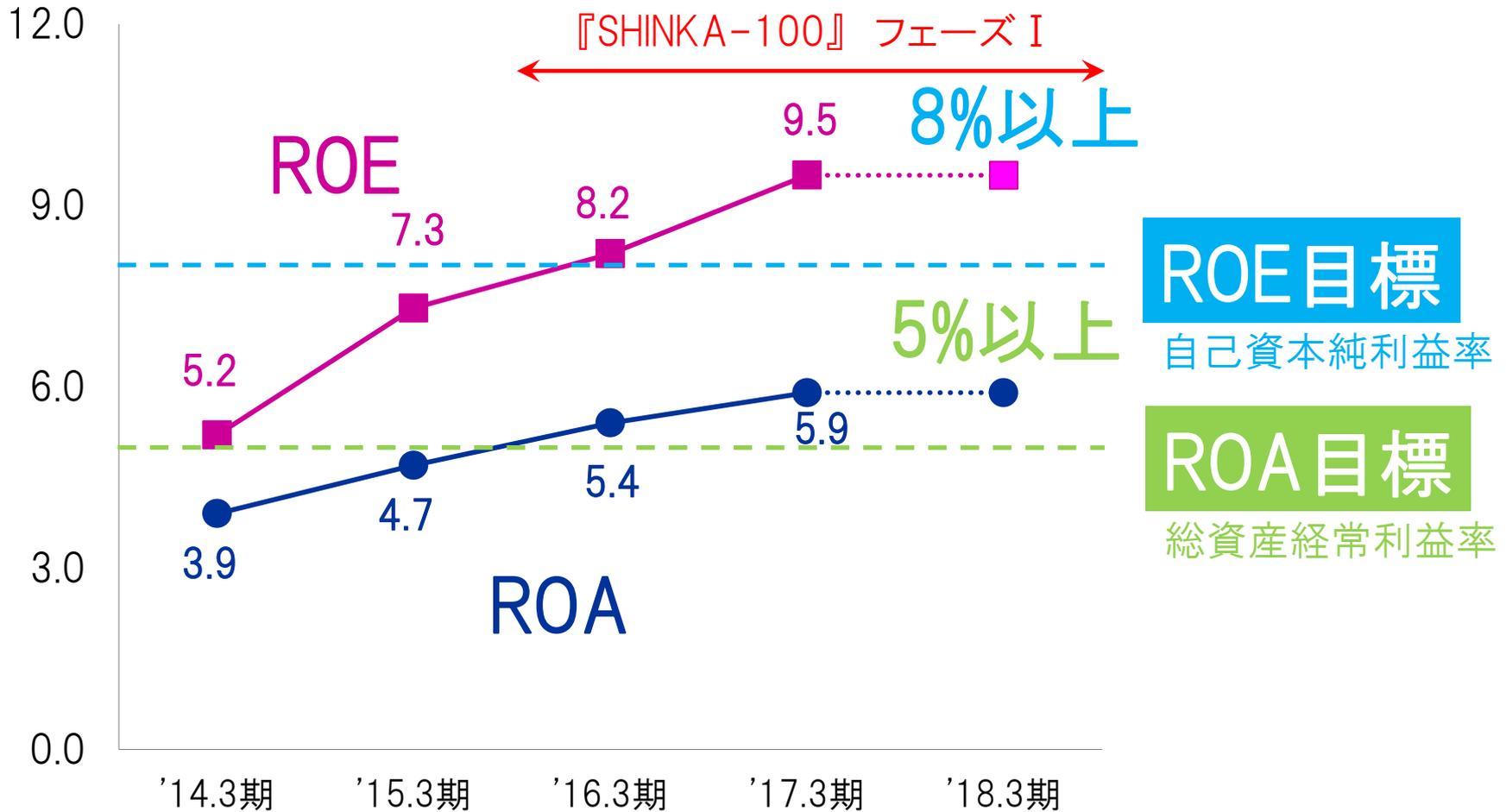
30

26.5

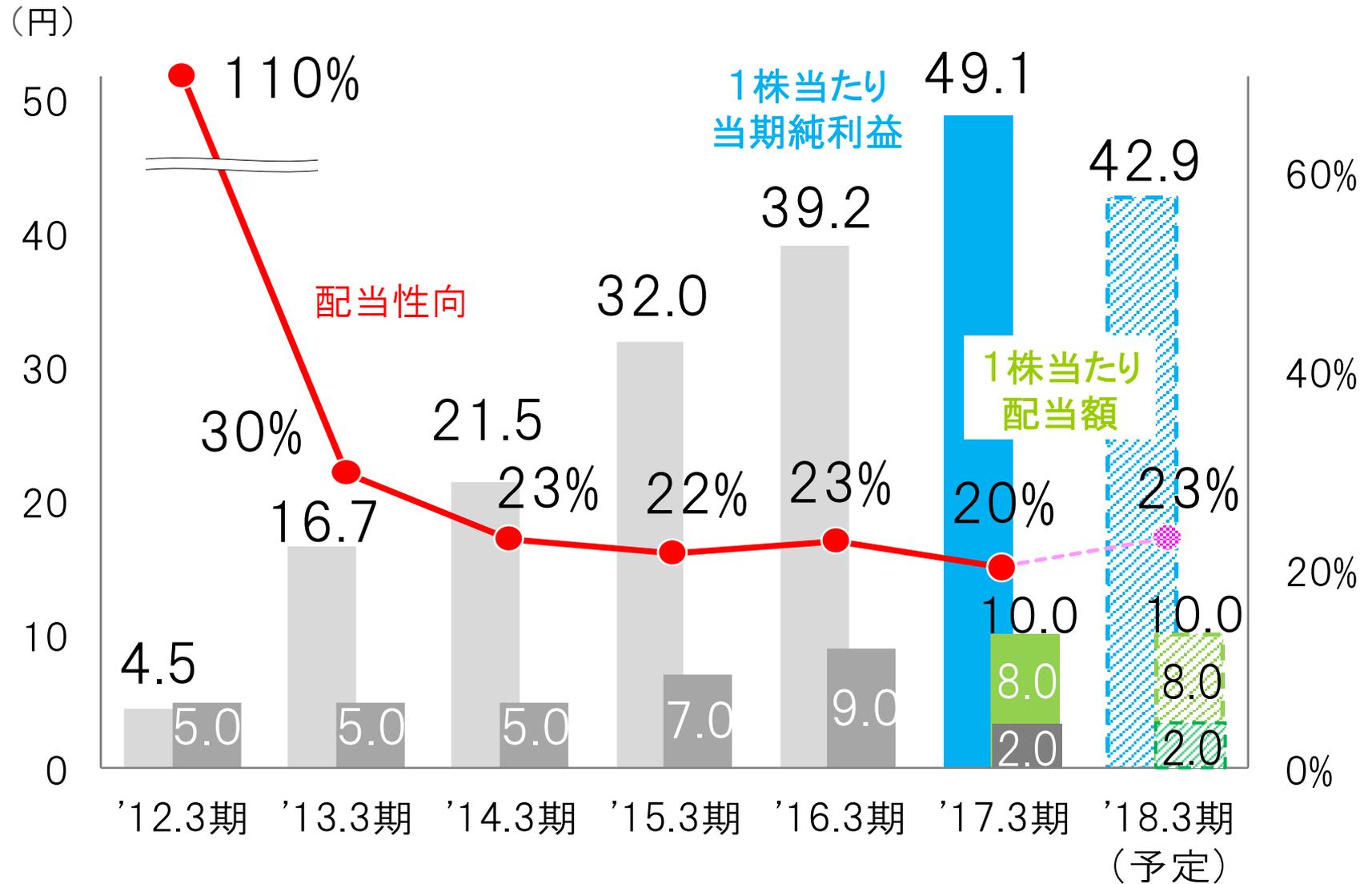
△12.6 %

ROA・ROE目標

(%)



配当の状況（連結ベース）



2017年3月期
東リ株式会社 決算説明会
(公益社団法人 日本証券アナリスト協会主催)



ありがとうございました